



経営力向上計画及び先端設備導入計画活用事例

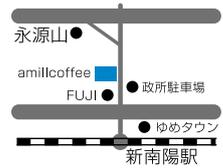


オランダ製の焙煎機と酒井直樹さんとアンナさん夫婦

オランダ風車のあるまちにオランダの焙煎機
地域らしさを大切にしたい自家焙煎コーヒー店

amillcoffee (アミルコーヒー)

■amillcoffee(アミルコーヒー)
〒746-0012 周南市政所1-8-2(駐車場/政所駐車場)
amillcoffee.info@gmail.com
・営業時間 11:00~17:00
・定休日 月曜日
・instagram(@amillcoffee_)



酒井直樹さんと妻のアンナさんが自家焙煎コーヒー店アミルコーヒーを開業したのは2年前。2人が出会ったのは東京で有名な自家焙煎コーヒー店で研鑽を重ね、直樹さんはカップリングで全国大会で3度の優勝、アンナさんはコーヒーの抽出技術を競う全国大会で5位に輝く技を磨いてきた。

開業のきっかけは結婚。直樹さんの故郷でお店を開業する決断をし、2人で店づくりを挑戦。コーヒー豆の選別や味に関しては直樹さんが担当し、店舗デザインや商品パッケージ、お店のコンセプトはアンナさんがプロデュースしてきた。アンナさんは「訪れてくれる方の笑顔がみられる毎日がとても幸せです」と話す。

新南陽地区のTOSHOP・PARK永源山(永源山公園)には姉妹都市オランダのデルフト市の「ゆめ風車」として市民に愛され続けている。アミルコーヒー前の道は駅から公園に続き、酒井さんは「ゆめ風車が地域の風景として人々の暮らしに溶け込んでいる。この地域らしさを大切にしたい」と話し、新たに世界でも高い評価を得ているオランダ製の自家焙煎機を導入した。

今回導入した自家焙煎機は以前のものより焙煎能力が10倍以上あり、以前から要望が寄せられていたネット販売にも取り組む準備に入った。

新規事業を見据えた導入にあたり経営力向上計画と先端設備等導入計画の申請など新南陽商工会議所のサポートを受けた。

酒井さんは「今までの焙煎機も良かったが土日に売り切れたりとお客様に迷惑をかけてきて、わざわざお店に足を運んで頂いたお客様に届けることが出来ずに悔しい思いをしてきた。この焙煎機がアミルコーヒーの新しい味を届ける相棒として、夢風車のようにいつまでも長くこのまちで愛されるお店を目指したい」と笑顔を見せている。

アミルコーヒーは酒井さん夫婦が二人三脚で作りの、地域の人の笑顔が集まってくる場所。二人の生き方に共感するファンも多く、夢風車を望みながら酒井さん夫婦のつくるコーヒーの味にオランダを感じながら楽しんでみてほしい。